バイクツーリング用コンパクトグリル “ひらっち”簡単マニュアル

本品はバイクのキャンプツーリングに特化した製品です。構造や強度をよく理解し安全にご利用ください。

ひらっちは軽量かつコンパクトな製品の中でもバッグの中に余裕で収納できるサイズスペックをもち、バックパックにも収納、整理しやすいことが特徴です。1 人から 2 人用としてコンパクトに仕上げた製品ですので人数に合わせ台数を増やすことや、ロケーションに合わせ縦横に並べてご使用もいただけます。また、補助的なアイテムとして焼きあがった食材のキープスペースとしても GOOD です。その構造と大きさから木炭の節約にもつながりますので本品をご使用の場合は自宅から必要量の木炭だけを持ち出すことも可能です。鍋やフライパン等の使用は禁止とさせていただきますが、重量がかかる調理器具等をご使用になられたい場合は本体を岩や石でしっかりと固定するなどして自己責任で行うようにしてください。※1

※1/スクレイパーブリッジの装着もおススメいたします。

・組立

初めての組立の場合はスタンドの取り付けに迷うと思います。

スタンド２本を比較し地面に接地する側の幅を見ます。

二種類あり広い方と狭い方が各１本です。

・広い方はグリル本体側の差し込み部分の広い方へ内側から差し込みます。

・狭い方は狭い差し込み部分の外側から差し込みます。

固定できましたら広い方のスタンドの内側に狭い方のスタンドが交差するように広げます。

スタンドブリッジを取り付けます。※ブリッジ付をご購入の場合のみ付属

※2/スタンドブリッジはグリルに荷重がかかるとそれ以上スタンドが広がらないようにする仕組みですので
“カチン”としっかり止まるというよりも“のっている”状態です。荷重がかかりスタンドのスタンスが広がりますとしっかりとスタンドを補強します。

木炭を入れて着火させますが最初は大きめの木炭を使用される方が良いです。

【ご注意】※よく読んで事故の無いようご注意ください。

本製品は原則として簡易なキャンプツーリングに特化した製品であり食材を直接焼くための BBQ グリルです。

調理鍋やフライパンを載せてのご利用方法などは原則想定しておりませんので禁止とさせていただきます。

本品は屋外用の金属加工品であり各部のエッジで怪我の無いよう手袋等を装着しご利用ください。

スクレイパー兼用ブリッジ付及び無しとの比較

ブリッジご使用にならなくても通常の機能に何ら問題はございません。

使用目的がシンプルな BBQ 等の場合はブリッジをお使いになる必要性はないものと考えます。

※1※2 をお読みいただき、スタンドのたわみが気になる場合等にのみ補強ブリッジとしてご利用ください。※ブリッジ付ご購入の場合

お手入れ方法

本体の清掃には金属タワシ等は使わない方が良いですが、外見上の使用感を気にされない場合は焦げ付きを素早くとり去ることができます。

メッシュ（焼き網）はコーティングが効いている間は金属タワシやスクレイパーを使わずに普通のブラシなどで清掃していただければと思います。

本体に残った汚れや油分は収納バッグの素材劣化を促進しますので出来るだけ油分を取り去ってから収納していただけますようお願いいたします。

	スタンドには大小があります。 取り付けを間違って無理やり組み立てないようにご注意ください。
  	※2 スタンドは炭や食材の荷重によりたわみながら広がり本体部分を支えます。 その際にたわんだ分だけ設計より高さが低くなる等のデメリットが発生します。 食材や炭等の荷重がかかった時などの安定感、たわみが気になる場合に使用します。 設置場所の地面が草や芝でブリッジが浮く場合はスタンド下からセットしておきます。 ■左二枚の画像は荷重のかかっていない状態とかかった状態の画像です。 通常のご使用においては何ら必要のないパーツですがより安定性に対してアドバンテージをもたせたい場合にご利用ください。 ブリッジは焼き網（メッシュ）の焦げやこびりつきを清掃する為のスクレイパーにもご利用可能です。
	バーナー等を使用しない場合はボトムの三角形状を利用し着火剤を底面に置き、 その上に画像様なの大きめの炭を並べるなどして炭火をおこしてください。 ボトムの隙間から炭カスが多少こぼれますのでテーブルの上などでご使用の場合はアルミホイルを引く等して工夫とご注意をお願いします。
	メッシュは両端のスリットを本体の端に差し込みます。 メッシュは本体フレームの一部となりますので他の焼き網などは使用しないでください。 炭を足す場合はメッシュハンドルかブリッジを利用し浮かせるもしくは持ち上げることが可能です。※メッシュハンドルは別途付属しています。
	ブリッジは図のようにメッシュと一緒に収納されると便利です。 後に木炭の燃焼効率と節約のための“テトラフレーム”（仮称）の発売も予定しています。